

田村市消防団出初式 1年の防火・防災を誓う

1月8日、市消防団の出初式が船引公民館で開かれ、消防団幹部や関係者約100人が出席しました。

式では、市長が「近年の災害は、想定を超えた大規模災害に発展する傾向にあることから、地域防災の要である消防団の位置付けはますます重要なものとなっている。地域の安心、安全のため、より一層の協力をお願いしたい。」と訓辞を述べ、消防団員一同は、今年一年の防火・防災への決意を新たにしました。



地域の安全安心を守る
田村市消防団

No.53

消防団だより



都路町の
安全・安心のため！
めざそう火災ゼロ
都路地区隊

都路地区隊は都路分署と「火災ゼロ都路」を目指し、毎月5日の付く日(5・15・25日)を防火・防犯の活動日として、月3回予防消防に取り組んでいます。



●年末年始防火防犯広報
年末年始の火災予防運動・地域安全運動の一環で、昨年12月18日に防火・防犯の広報活動を行いました。団員が各家庭を訪問し、声かけによる注意喚起とチラシの配布を行いました。



●令和5年無火災祈願祭
1月8日、田村市消防団出初式終了後に都路町にある大亀神社で無火災祈願祭を行いました。



新入団員募集

都路地区隊では、新たに入団したい方を募集しています。詳しくはお近くの消防団員または都路行政局へご連絡ください。

☎都路行政局 ☎75-2111



田村市の文化財

関教育部生涯学習課 ☎81・12115

『絵馬』

寺社仏閣に願い事をするとき、願い事が叶ったお礼をするときに奉納する絵馬。その起源は、古代に神馬として神様に生きた馬を献上したこと由来し、奈良時代になり馬の絵を描いた板が見られるようになりまし。その後、馬だけでなくさまざまな絵が描かれ、江戸時代になると奉納絵馬の風習が庶民に大いに広がり、願い事も無病息災など多種多様になりました。

市内の寺社仏閣にはさまざまな絵馬が奉納されています。以前紹介した「算額」も絵馬の一種です。市指定の絵馬(算額含まず)は44面あり、そのうちいくつかを紹介いたします。

まず、一番古い絵馬は、船引町芦沢字淀に所在する虚空蔵堂に奉納された、1665(寛文5)年銘の「半肉彫金魚の図」です。作者は不明ですが、半肉彫(浮き彫りの一種)の

魚型に、金粉を塗布し貼りつけた優れた工芸絵馬です。

次に、一番大きい絵馬は、船引町堀越字大門に所在する大風薬師堂に奉納された、1893(明治26)年銘の「念仏奉唱の図」で、縦141センチメートル、横261センチメートルあります。絵師は不明ですが、船引町堀越・門沢の念仏講中の様子が描かれ、当時の庶民の風俗を知ることができる貴重な絵馬です。

次に、江戸時代の三春藩を

代表する絵師が描いた絵馬で、船引町芦沢字光光寺に所在する薬師堂に奉納された、1822(文政5)年銘の「曳馬の図」があります。絵師は馬描きの名人といわれた藩士・徳田研山好時で、絵ばかりでなく馬術にも優れた有能な武士でした。墨一色の濃淡と太い線で描いた研山の馬は気品と重量感にあふれ、この絵馬は保存状態もよく市内屈指の作品です。なお、好時の子の好展も絵を描き、研山号を受け継いで2代目研山

と呼ばれ、市内に多くの絵馬が残ります。

最後に、船引町新館字下に所在する日渡神社に奉納された、1849(嘉永2)年銘の「馬籍の図」(2面)には、三春藩西北部の26村880余頭の飼育馬が描かれ、村名や飼主名も記されています。絵師の雲龍齋移岳については不詳ですが、県内でもこれほどの馬が描かれた絵馬はななく、この地方で馬産が盛んに行われていたことを物語る貴重な資料です。



- 1 半肉彫金魚の図 (虚空蔵堂)
- 2 念仏奉唱の図 (大風薬師堂)
- 3 曳馬の図 (薬師堂)
- 4 馬籍の図1 (日渡神社)
- 5 馬籍の図2 (日渡神社)

今回は「湧水(清水)」を紹介する予定です。
田村市の文化財一覧はこちら▶▶▶

